

## 会 議 記 録

次の審議会（協議会）を下記のとおり開催したので報告します。

審議会等名称	令和7年度 第1回近江八幡市総合教育会議		
開催日時	令和7年6月9日（月）13時30分～15時00分		
開催場所	近江八幡市役所 3階 市長応接室（近江八幡市桜宮町236）		
出席者 ※会長等◎ 副会長等○	<p>出席者(敬称略)</p> <p>市長 小西 理 (◎)</p> <p>教育長 安田 全男</p> <p>教育長職務代理者 重森 恵津子</p> <p>教育委員会委員 西田 佳成、大更 秀尚</p> <p>欠席者</p> <p>教育委員会委員 圓山 淳子</p> <p>事務局</p> <p>総合政策部企画課</p> <p>教育委員会事務局教育総務課</p> <p>出席所属</p> <p>教育委員会事務局学校教育課</p> <p>傍聴者 なし</p>		
次回開催予定日	令和7年7月下旬		
問い合わせ先	<p>所属名、担当者名 総合政策部企画課 <u>野田 卓治</u>、中川 郁</p> <p>電話番号 0748-36-5527</p> <p>メールアドレス 010202@city.omihachiman.lg.jp</p>		
会議記録	発言記録・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">要約</span>	要約 した 理由	内容を整理して、分かりやすく記録として残すため
内容	別紙のとおり		

担当課⇒総務課

事務局	1. 開 会 省 略
市長	2. 挨 拶 省 略
事務局	3. (報告事項) 第2期近江八幡市教育大綱に係る実施事業について ▪ 資料1-1及び資料1-2に基づき、事務局より説明。
事務局 委員	4. 議 題 ① 教育行政に係る現状と課題等の整理 ▪ 意見交換を行う前に、資料2に基づき、事務局より説明。 ▪ 社会課題や子ども・保護者が抱える課題が複雑化しており、社会の変化のスピードも増している。 ▪ 我々自身も課題を発見することが、今後、さらに必要になる。
委員	▪ 「親育ち」の取組について、周知が十分に行き届いていないのではないか。 ▪ もっと積極的に周知を図ることで、制度等の利用者の増加が見込まれる。 ▪ 幼い頃から、近江八幡市のふるさとに誇りが持てる教育を実施することが必要である。 ▪ 将来、近江八幡に戻り、市のために、市と関わりながら何か進めたいという意識醸成にも繋がると考える。 ▪ しかし、ふるさと学習を進めるための人的・金銭的余裕が無いことが残念だと感じる。
委員	▪ 子ども・若者の支援プログラムや就労に向けた企業のプログラムなど学校教育以外の要素や観点を教育大綱に盛り込めると良い。
教育長	▪ 学校教育が教育大綱の柱になることは自然であるが、学校だけで子どもが育つわけではない。 ▪ 社会全体で子どもを育てていく大きな前提を打ち出すことも重要である。 ▪ また、教育大綱の3本柱のうち、「親が育つ」「市民が育つ」部分がやや抽象的になっていると感じる。 ▪ 特に、教育委員会では、学校への取組が主体となっているため、「親が育つ」「市民が育つ」部分のアプローチは難しさもある。 ▪ 教育委員会が取り組める内容としては、社会教育や生涯学習であり、施策を強化していきたい。 ▪ 市長部局と教育委員会が連携して、相互に希薄な部分を強化することにより、子どもたちが育ちやすい環境に繋げることが課題と認識

市 長	<p>しているため、今後、議論を進めたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 社会全体として、食欲さを失っていると感じる。</li> <li>▪ 自分が社会のために何ができるのか、何をもたらすのか、考え方を転換することが必要である。</li> <li>▪ また、外部に人材が流出している課題があり、近江八幡に戻って活躍する、地域で活躍する人材を生み出せないか強く感じている。</li> </ul>
事 務 局	<p>② 教育大綱の基本理念について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 意見交換を行う前に、資料2に基づき、事務局より説明。</li> <li>▪ 第3期教育大綱のキーワードとして、子どもたちの「生き抜く力」を養うことを掲げたい。</li> </ul>
教 育 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 「生き抜く力」というフレーズは、現行の第2期教育大綱にも記載されているので、新たな話ではないと認識している。</li> <li>▪ ただ、「生き抜く力」を基本理念として前面に打ち出していくことは非常に良いと考える。</li> <li>▪ また、学校だけでなくあらゆる主体が連携して「生き抜く力」を育成する視点も前面に打ち出せると良い。</li> <li>▪ 各発達段階における育ってほしい姿について、幼保では一定の方針が示されているが、小学校以降は、全く議論がなされていないため、基本理念について議論を進める際、具体的に検討していくことが必要と考える。</li> </ul>
委 員	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 「生き抜く力」を前面に打ち出していくことは賛成である。</li> <li>▪ 各発達段階における育ってほしい姿について、道しるべとなるような教育大綱となれば良い。</li> </ul>
委 員	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 「生き抜く力」のその先にあるものとして、自分の力で国や自治体を支えられる力を子どもたちに身につけて欲しいと考える。</li> <li>▪ 納税者として、国や地域を支える子どもたちを育てていきたいと現場では思っていた。</li> <li>▪ 教育大綱の基本理念と、企業やその他団体が掲げる理念とが、うまく合致できれば、自分ごととして教育大綱への理解、参画が得られるものと考ええる。</li> </ul>
教 育 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 「生き抜く力」を身につけるには、課題発見能力を養うことが重要と考える。</li> <li>▪ 課題発見能力とは、感性や感覚、直感である。言い換えると人間の脳細胞のシナプスのようなものである。</li> <li>▪ 学校で教科を勉強して知識を習得すると思うが、知識と知識を関係づけるような感性や感覚、直感力を育てる取組を通じて、課題発見能力が生まれるものと考ええる。</li> <li>▪ ただし、課題解決能力は、これまでの歴史の中で日本人は十分、能力を養ってきたと考えるが、解決すべき課題が陳腐化しており、全</li> </ul>

市長	<p>世界で発生する事象に十分対応できていない。本当の課題とは何か発見できる課題発見能力を養うことが、「生き抜く力」に繋がるものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「生き抜く力」を身につけた子どもたちが社会人となった時、どのような姿に育ってほしいのか、各発達段階において達成すべき課題は何か、意見をいただきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>「生き抜く力」とは、物事を球体で見る。つまり、様々な方面から見る能力であるとする。</li> <li>自分の考え方が間違っているかもしれない、他に考え方があるかもしれないことを認識しておくことが「生き抜く力」に繋がると考える。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>「生き抜く力」とは定義として縛ったり、決めつけたりするものではなく、その下に、色々な能力が枝葉のように分かれているイメージを持っている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>人生はうまくいかない時の方が多いので、その際に自分で回復する力、立ち直ることができる力が「生き抜く力」と考える。</li> <li>また、勉強ができる、頑張る子どもたちだけが対象ではなく、「誰一人取り残さない」という文言をキーワードとして教育大綱に記載いただき、近江八幡としてその子らしく輝いて生きていけることを目指してほしい。</li> </ul>
市長	<ul style="list-style-type: none"> <li>世の中にある先入観をいかにして取り払うのか重要な視点である。</li> <li>子どもや保護者に対して、例えば動画や漫画など分かりやすく訴えかけるツールがあれば、教育大綱が浸透し、受け止めてもらいやすくなると思う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>苦勞して策定した教育大綱が絵に描いた餅とならないよう、なるべく優しい言葉を用いるなど工夫してもらいたい。</li> </ul>
市長	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育大綱の基本理念に、「生き抜く力」をキーワードとして据えることは概ね意見として一致した。</li> </ul>
事務局	<p><b>5. 事務連絡</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第2回総合教育会議は、7月下旬に予定する。</li> <li>子どもの意見聴取の手法及び第3期教育大綱の素案について、事務局より提示し、意見交換を行いたい。</li> <li>後日、現行の第2期教育大綱に係る意見書を送付するので、6月末を目途に、委員より意見をいただきたい。</li> </ul>
事務局	<p><b>6. 閉会</b></p> <p>省略</p>

終了時刻：15時00分